

「ちばのやる気」学習ガイド

活用事例

	概 要
学 校 名	香取市立佐原第五中学校
活用の仕方	授業内において、早めに課題が終わった生徒に対する応用プリント、さらに知識を深める補足プリントとして活用している。英語の授業では Writing のイメージを広げるため、PowerPoint 資料や動画と共にワークシートを活用している。実力テスト前には、自主学習として取り組んでいる生徒もいる。
成 果 等	授業で工夫して使用することにより深い学びとなった。インターネットで公開されている「ちばのやる気学習ガイド」などの学習教材は、様々なトピックや学習情報にアクセスしながら自分のペースで学びやすいため、生徒個々の学習スタイルや進め方に合わせやすい。

使用例 ちばのやる気学習ガイド 中学2年 英語 比較級2 ユニット14

- **Writing Practice** 世界に目を向けた話題に対して、比較級を使って自分の考えが言えるよう促す。
- 画像を使うことによりイメージを膨らませる。

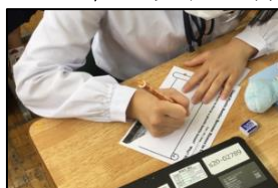


実際に、3カ国語を話す中国人、日本語と英語を話すアメリカ人、ポルトガル語と英語を話すブラジル人に、中国語や英語を話せるメリットについての動画を作ってもらい、視聴する。



Message from the world

- **Which** を使った比較級の問いに対して、答えをワークシートに記入する。
「Which is more important, learning English or learning Chinese?」
- **グループ活動** それぞれの生徒が発表し合う。



POINTS

- **job**
- **friend**
- **travel**

- **成果** 生徒達は、より関心をもち活動に取り組むことができた。